うぶんか

「「人体実験」と患者の人格権
金沢大学付属病院無断臨床試験訴訟をめぐって」

△上に戻る

4：参考資料一覧

- 打出喜義「直言」：『ＥＳ細胞研究、慎重に審議を』
  朝日新聞　2002.10.2
- 打出喜義「読者交論」：『内部告発者の扱い　積極的な保護を望む』
  東京新聞　2003.5.14
- 仲正昌樹、打出喜義、仁木恒夫.
  『人体実験』と患者の人格権　―金沢大学付属病院無断臨床試験訴訟をめぐって―
  御茶の水書房、2003、35 - 61
- 打出喜義　大学病院における「人体実験」と患者の人権―金沢大学付属病院無断臨床試験をめぐって―
  月刊情況　2004年４月号、70 _ 87
- 打出喜義「患者の同意を得ない臨床試験（人体実験）」が現実に行われている.
  患者のための医療、2004年第９号、84 _ 94
- 打出喜義　学問の自由と研究者の倫理―ある産婦人科医の体験
  臨床評価、2004年、vol.32、Suppl XXI、63 _ 74
- 打出喜義　カルテ改ざん
  さいろ社、2004年、62 _ 65
- 「こちら特報部」：『被験者保護法制定訴え』『勝手に実験・・・医の倫理は？』
  東京新聞　2005.3.5
- 「朝日新聞・石川」：『遺族支えた医師の信念』
  朝日新聞　2005.6.2

その他

ア　判例時報1841、122 _ 135頁
イ　判例時報1861、173 _ 177頁
ウ　年報医事法学２０号、122 _ 131頁

△上に戻る

Powered by FC2.com